

# ともしび通信

発行：NPO法人没イ手の会・京都



みんなでお歌おう!

## 野山に花々が咲き乱れる 暖かい季節になりました



### キャバレーという所

社会人第一歩をキャバレーのボーイという希有なスタートを切った私ですが、私は興味津々で第一日目の出勤をしました。

3日間の研修で、立ち姿、銀盆の持ち方、歩き方、等結構厳しく教育されて、接客業の難しさを叩き込まれました。出勤は午後2時半、それから2時間お掃除、4時半から銭湯に行き夕食を食べ、5時半に入店という毎日が始まりま

した。キャバレーという所は舞台が正面にあり、そこで生バンドの演奏があり、それもフルバンドとハワイアンバンドが30分交代での演奏です。それに合わせて、お客さんとホステスさんがダンスをするというスタイルで、ですからホ

ステスさんはダンスが得意なわけでは、初めての人ばかりなので、早い時間に来て先生からダンス教育もありました。タンゴ、ジルバー、ワルツ、ブルース、などを教わってましたね。ボーイたちは掃除をしながらそんな光景を眺めて自分もダンスができればいいなあと思

ったものです。制服はマネージャー、主任が黒服で蝶ネクタイ、ボーイは白服、ホステスさんは、チャイナドレスです。太腿まで見えるチャイナ

ドレスに、初めは私など目の行きどころがなく、ドキドキしながら横目で眺め仕事をしました。店の決まりとしては、お客さんからチップをもらってはいけない、ホステスと恋愛関係になつたらいけない、

即首が飛ぶと言うものでした。

ボーイの中でもベテランのボーイ4名ほどは玄關のドアボーイをするのです。馴染みのお客さんの顔をよく覚え、誰のホステスのお客さんか寸時にわかることが大切で、そのボーイはチップをもらっても良いことになっていました。ですからボーイのエリートですね。

服装も金金のオーバールのような派手な服でボーイの憧れの存在でした。

5時半朝礼、マネージャーの訓示や先月の成績優秀者の表彰。ホステスのNo.10まで毎月賞金が出るのですが、大体毎月決まった人が表彰されます。指名の多い順ですね。不思議に思ったことは、No.1とか言う表彰される人美人がいらないと言うことです。美人は何人もいるのですが、表彰される人は後

で知ることになるのです。が、美人ではなく、まず頭がいい人、愛嬌のある人、敵の少ない人、なのです。指名を沢山もらいそれをこなして行くには、仲間の応援がないと一度に5人、6人の指名のテーブルを回りきれません。1つの指名のテーブルに座ると、後の指名のテーブルは誰かに任せなければなりません。そうでないとお客さんを一人でポートさせてしまいます。

そこは主任たちが、本番さんと読んでいるホステスをつけるわけですが、新人であまり指名のないホステスさんです。ですからNo.1の人はみんなに好

かれていないと沢山の指名をこなせないわけですね。それと、どのようにテーブルを周ればいいのか、頭を使う仕事ですから、自然と頭の良い人がお客さんから支持されると言う構

図になるわけですね。私は指名の多い人は美人で、色気のある人だと思っていたのですが、見事に期待を裏切られました。

研修が済んでいよいよ私のボーイとしてのスタートを切る時が来ました。6時開店でお客さんが入ってきました。ドキドキしながら決められた位置に姿勢正しく立ち、お客さんに頭をさげ、自分の受け持ちのテーブルにおしぼりをお持ちすることから私の仕事が始まりました。

舞台ではフルバンドが(テレビに出ているバンドです)演奏を開始、戦争開始です。

仏教の事はどうなったの？すっかり頭から消えていました。その部分は暫く後に考えさせられる事が起きて初めて念仏を唱える事になるのですが、それは次回の号で……

籠谷 弘

「没イチの会・京都」を知って！

岐阜県在住のWEB会員

宮川敬子と申します

一昨年、「没イチ」という立教大講師の小谷みどり氏の記事を読み、昨年当初、「没イチの会」という言葉に惹かれてネット検索したところ、岐阜には存在せず京都に会があることを知りました。

京都市では、市民活動及び福祉活動のグループをサポートするためにNPO法人化やホームページ等の活動も含め、バックアップをして頂けることも知りました。

小谷氏の記事には、「慰めあうに留まらず、今後どう過ごしていけばいいのかが大切であり、そういった場が必要である。」と記載されていた事も後押しとなり、この会に問い合わせをしたのがきっかけです。

会の代表である籠谷様の「今もどこにいても、配偶者が一緒

ならどれほど楽しいかとその死をいまだに受け入れられないでいます。誰かにこの思いを語れたら

どれほど救われることかと考える日々です。こうした思いは私だけでなく、同じ思いを持っている方々と慰め、励まし合う中で今後どう過ごしていけばいいのかを多くの方と共に考え、語り合えたらと思っています。」のご投稿に救われる思いでした。

私は、当時54歳の夫を急性の心筋梗塞で突然亡くし、7年近く経っても迷々たる想いは晴れることはなく、「いまだに受け入れられない」という同じ思いにホッとしたことを思い出します。

その後、WEBで川柳等の皆様の記事が掲載されている「ともしび通信」を拝読させていただいています。

今回、理事長の籠谷様のご体調について俳句をお送りしたところ、「会員 趣味のホームページ」のご紹介があり、拙いですが「チューリップ畑」に参加させていただくことになりました。

「会員 趣味のホームページ」より その2

「あじさい川柳」 藤本花枝

右にゆれ 左になびき生きる

萩

気楽に行こ流し流されあの世まで

寒い日は寒かった頃思い出し

「コスモス短歌」 石田禎子

世界地図 みるみる赤に染まりしが 終息祈り こまめに手洗い

洗い

マイルール三陸鉄道開通し

長きにわたる人々の思い

一仕事 終えて針持つ手触りは やさしいガーゼの手作りマスク

スク

「ひまわり畑」

「ひまわり短歌」 光木和子

太陽も月も光は変わらぬに

ウイルスの影地上をおおう

皆で唄えば 時は瞬時に逆回り 働き盛りに青春時代に

会えないとこんなにも有り難いものか 電話の声とメールの言葉

「ひまわり俳句」 山口佳寿子

木々ゆれて みぞれ降りしき

小鳥なく

寒もどり 桜の便りチラホラと

寒空に 背中丸めてバスを待つ

「ひまわり川柳」 堀秀章

街医者の方月一ごとの処方箋

こころ旅 チャリオ君で とう

ちやこ

「チューリップ畑」 宮川敬子

春の日の 花さき匂ふ 幸あら

む

立春の 空健やかなれと 思い

馳せ

懐かしや 節句の祝い 今年こ

そ

ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都  
住所：京都市西京区大原野東境谷町1丁目1番地4-701  
TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328  
MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい思いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。